

DENSO

社 会 貢 献 活 動

年次報告

2001

デンソーは、「社会の共感を呼ぶ企業づくり」の実現をめざし、
社会と共生する企業市民として、さまざまな活動を展開しています。
本レポートでは、2001年度に行った活動の成果について詳しくご紹介しています。

取り組みにあたっての考え方(重点施策)

デンソーらしさを活かしながら、より社会からの共感を得ることができるよう、
3つの重点分野を設け、活動内容の充実に取り組んでいます。

重点分野:「障害者福祉」「青少年育成」「環境保全」
活動形態:「寄付協賛」「自主企画プログラム」「ボランティア支援」

～ 重点3分野(障害者福祉・青少年育成・環境保全)の活動内容充実 ～

障害者福祉

『アジア車いす交流センター』の事業立ち上げとNPO法人としての自立化

青少年育成

モノづくりと創造性啓発プログラムの企画・推進

環境保全

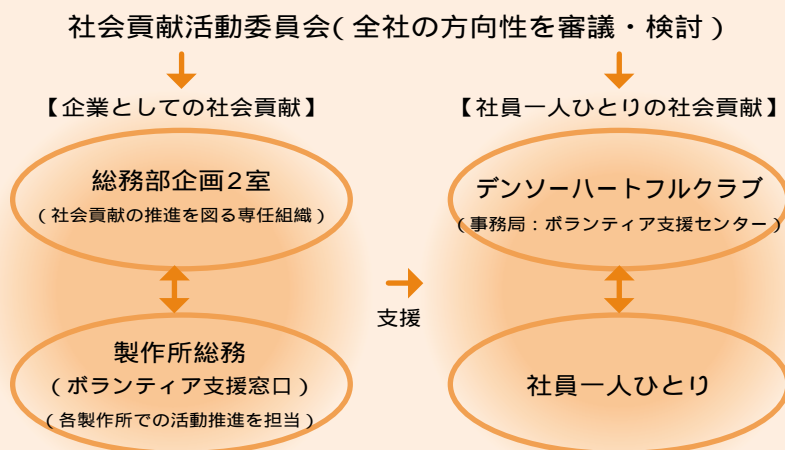
環境教育プログラムの企画・推進

～ 社員の自主的な社会参加活動の浸透と定着 ～

社員有志によるボランティアグループ「デンソーハートフルクラブ」の活性化
(ボランティア活動への参加者の拡大)

推進体制

社会貢献活動に関する会議体『社会貢献活動委員会(事務局:総務部)』を組織しています。
社会貢献活動のあり方や活動推進について審議検討し、具体的な取り組みに結びつけていきます。



障害者福祉



特定非営利活動法人(NPO法人)

「アジア車いす交流センター(WAFCA)」(Wheelchairs and Friendship Center of Asia)

1999年4月に設立。車いすの普及活動を通じてアジアの障害者が自立できる環境づくりを行うこと、スポーツ・教育分野における支援を通じてバリアフリー社会の実現に寄与することをめざしています。WAFCAの活動概要は、インターネットのホームページでも紹介しています。(アドレス: <http://www.tns.ne.jp/wafca/>)

事業	実施日	内容
車いす生産支援と普及事業	2001年4月～	タイ身体障害者協会の車いす工場[Thai Wheel]の生産支援活動(デンソータイランド社員による技術・生産指導等)を実施。 ・生産台数:99年50台 00年400台 01年600台(見込) ・生産した車いすの買い上げ タイ国内の障害児施設へ寄贈(150台)
障害者スポーツ交流事業	2001年10月13～14日	愛知県安城市・刈谷市にて、「あいおい杯・WAFCA車いすバスケットボール日本・タイ交流大会」開催。 ・タイチーム(20名)と愛知県内の7チーム(82名)の計8チーム102人が参加。 ・安城市内の小学校の生徒ら約1000名が観戦。
	2001年8月～10月	タイチームのコーチ、選手3名を対象に、太陽の家にて、車いすバスケットボールのインストラクター研修を開催
	2002年2月18～19日	タイ・バンコク市にて「車いすバスケットボール大会」開催 タイ、日本、マレーシア、ベトナム、ラオス、フィリピンの6ヶ国、11チーム137名が参加。 大会に先立って(2/15～17)各国のコーチ・選手を対象にインストラクター研修を開催(57名参加)
障害児教育支援事業	2001年2月22日	バリアフリーのモデル校づくりの一環として、タイ・バンコク・サムセンノックスクールにスロープ(11ヶ所)、エレベータ(1基)、障害者用トイレ(4ヶ所)を寄贈。
	2001年4月～	未使用テレカ、書き損じハガキ、切手の収集による障害児への車いす寄贈活動 4～9月実績:145,500円(車いす5台分)
広報・啓発事業	2002年1月23～27日	会員による車いす修理活動を盛り込んだ、タイフレンドシップツアーを催行(1/23～27)。会員21名が参加。

WAFCAの活動は、会員の皆さんの会費によって支えられています。一人でも多くの皆さんのご協力をお願いします。加入状況:2002年1月末現在 803口

「デンソー太陽」

障害者に働く場を提供し、社会参加と自立を支援するため、1984年に社会福祉法人「太陽の家」と共同出資で愛知県蒲郡市に設立。工場内は全てバリアフリーで、車いすの高さに合わせて昇降する作業台など、設備・治具なども障害にあわせて医学的、労働科学的な配慮がなされています。工場では、約200名の方が軽自動車用メーターの組付けや関連部品の加工に従事しており、障害者の自立の場として、そして高品質な製品を安定的に供給する優良会社として知られています。また、スポーツ・レジャーイベントなどには当社の社員もボランティアとして参加し、交流を深めています。

生産金額(2000年) 44億円 生産台数(2000年)コンベーションメーター=92万台・フューエルセンサー=247万台

イベント	実施日	内容
納涼大会	2001年8月4日	デンソー太陽敷地内で開催される「納涼大会」、17回目の2001年も多くの露店が並び、1000人を超える人で賑わいました。デンソー社員をはじめ地域からも多数の参加があり交流を深めました。
デンソーモノづくりフェスタ見学会	2001年8月25日	「デンソーモノづくりフェスタ」見学会を開催。デンソー太陽関係者28名がデンソー本社のショールーム見学、高棚製作所でのモノづくり体験などに、参加していただきました。
オールトヨタピックホリデー見学会	2001年11月10日	トヨタグループの交流イベント「オールトヨタピックホリデー(豊田スタジアム)」への見学会にデンソー太陽関係者34名が参加。トヨタグループの社員が、会場案内等のボランティアとして、見学会をサポートしました。

「大分国際車いすマラソン大会の支援」

当社は1991年の第11回大会より協賛企業として大会運営をサポートしています。

第21回となる2001年も、大会への協賛をはじめ、従業員ボランティアが中心となり、以下の支援活動を行いました。

事業	実施日	内容
運営ボランティアの派遣	2001年11月11日	15名の社員及び家族がボランティアとして参加し、スタート地点・コース沿道の観客整理、選手の介護、会場の後片付けなどを実施。
大会参加選手の練習サポート	2001年10月7日、28日、11月3日、4日	社会福祉法人「太陽の家」愛知事業本部から大会に参加する選手(8名)を支援するため、西尾製作所の工場敷地を開放し、練習の場として活用してもらいました。社員ボランティア(8名)が選手のタイムキーパー、交通整理等の支援をしました。

地域の社会福祉施設との交流・支援

事業	実施日	内容
障害者施設「くるみ会」への業務委託	1999年10月～	冷暖房製造2部がヒータコア製造時に発生するパッキンの裏紙の裁断とポリ袋への封入作業を「くるみ会」に業務委託し、その製品を梱包用のクッション材として再利用しています。
障害者授産施設「さくらワークス」の支援	2000年12月～	愛知県豊田市にある身体障害者通所授産施設「さくらワークス」が製造するクッキーを会社の贈呈品として活用し、障害者の自立を支援しています。
NPO法人「パンドラの会」の支援	2001年3月～	愛知県刈谷市にあるNPO法人「パンドラの会」の障害者が製造するお菓子を、社内売店(刈谷生協)の協力を得て店頭販売し、障害者の自立を支援しています。
養護施設「米山寮」の仮移転のお手伝い	2001年5月1日～5日	愛知県岡崎市にある養護施設「米山寮」老朽化に伴う仮移転先(旧東岡崎病院)の屋内外の清掃に、デンソー社員50名がボランティアとして参加しました。

青少年育成



「デンソー モノづくりフェスタ」

子供たちにモノづくりの楽しさと奥深さを体験してもらおうと、夏休みの2日間(8月25・26日)高棚製作所・デンソー工業技術短期大学校において開催。地域の小中高生や発明クラブ員、地域の親子づれ等 約1,000名が、万華鏡づくりや携帯電話の分解、竹とんぼづくりなどを楽しみました。催しには、デンソー短大の指導員・生徒、デンソー技術会・養技会の社員など、約100名が運営・工作指導のボランティアとして参加しました。

イベント	実施日	内容
おもしろ工学実験講座 ～エネルギーの世界で遊ぼう～ 講師：中部大学工学部 岡島教授	8月25日	身近な製品に活用されている科学原理や基礎技術を実験やクイズをしながら紹介。興味深く聞き入り、学ぶ子供たちの姿が見られました。
サンデースクール	8月26日	万華鏡・キーホルダー・アクリル工作・電光表示時計など7コースを設け、実際にモノづくりを体験していただきました。2時間～5時間かけてハンマーやプレス機・ハンダなどの工具を使い、素材から作品を作り上げました。
「エンジニアの仕事って何?講座」 ～携帯電話の技術をのぞいてみよう～	8月26日	デンソー技術者が講師となって、エンジニアとはどんな職業かというレクチャーのあと、携帯電話を工具を使って分解。携帯電話の構造や仕組みの話、技術開発のエピソードも教えていただきました。
モノづくり体験コーナー	8月25・26日	スポンジアニマル工作やバルーンアートのほか、自然の材料を使った竹工作、間伐材工作などを行い、大盛況でした。
技能体験コーナー	8月25・26日	図面から実物を探したり、形状、材質の違いによる重さの計測などを体験する基礎コーナー。1/100ミリのすきま、段差、かたさ・粗さなどの判別する応用コーナーを設置。モノづくりを考え、楽しみながら体験できるクイズコーナーとして大人も含めて好評でした。
技能五輪選手スタンプラリー	8月25・26日	旋盤、フライス、電子機器 など8種目の技能五輪選手技能実演を見学。技能に対する選手の真剣さが伝わってきました。

その他本社ショールーム見学会、からくり作品展示コーナー、モノづくり講演会など、全部で16コースのプログラムを実施しました。

「少年少女発明クラブ支援」

デンソーの社員が講師や工作指導ボランティアとなり、地域の少年少女発明クラブの活動を支援しています。発明クラブの小中学生を対象に、科学への興味を引き出し、自分の手でモノづくりをする楽しさを知ってもらうために、以下のような創造学習のサポートをしました。

事業	実施日	内容
刈谷少年発明クラブ 「デンソー特別講座」	2001年 12月22日	「音の世界に触れてみよう～電子ピアノ工作～」講座を開催。 午前中の講義・実験ではポップラー効果の実験などを通して音の世界に触れ、午後の工作の時間には子供たちがハンダごてやニッパなどを使って、電子ピアノを作りました。(小5～小6 30名参加。デンソーボランティア13名参加)
西尾少年少女 発明クラブ 「デンソー特別講座」	2002年 2月23日	「クリーンエネルギー～ソーラーカー工作～」講座を開催。 午前中は地球環境問題について1時間のレクチャーをしたあと、太陽電池についての実験を行いました。午後はドライバーやニッパなどを使って、ソーラーミニ四駆を作りました。(小3～小6 34名参加。デンソーボランティア5名参加)

「ファミリーオープンハウスデー」

日頃、お父さんお母さんの仕事内容を知らない子どもたちに対し、実際に職場を見てもらうことによって、理解を深めてもらうというイベントです。デンソーの全製作所で毎年開催しています。(333家族 1,165名参加)

製作所	実施日	内容
大安	8月8日	職場見学、デンソーロボット・排水処理場見学(50家族 138名参加)
阿久比	8月23日	職場見学、ロボットのデモ運転見学(12家族 41名参加)
幸田	8月24日	職場見学、電子工作(22家族 75名参加)
本社・池田	8月27日	職場見学、実験室・ショールーム見学(122家族 477名参加)
高棚	8月27日	職場見学、会社PRビデオ上映会(26家族 89名参加)
豊橋	9月24日	職場見学、パソコンによるカレンダーづくり(11家族 39名参加)
安城	9月24日	職場見学、電子工作(29家族 93名参加)
基礎研究所	11月23日	職場見学、オルゴールづくり、施設見学(8家族 21名参加)
西尾	11月23日	職場見学、不思議自動車づくり(53家族 192名参加)

「地域イベントへのからくり作品 出展」

社内で2年に1回行われるアイデアコンテスト「夢卵(ムーラン)」の出展作品を、地域の創造性啓発イベントに出展協力しています。地域の子供たちにモノづくりへの関心をもってもらえればと考えています。

内容	実施日	会場
犬山おもしろからくりロボット展(6作品展示)	4月6日～4月8日	犬山市文化史料館
トヨタグループアイデアコンテスト作品展(6作品展示)	4月17日～4月22日	産業技術記念館
知立「からくりおもちゃ展」(6作品展示)	8月4日～8月12日	知立市文化会館
青少年のための科学の祭典2001(2作品展示)	10月6日～10月7日	名古屋市科学館
刈谷生活創意工夫展(3作品展示)	10月20日～10月21日	刈谷産業振興センター

環境保全



「デンソー環境教育プログラム エコレンジャー21」

次世代を担う子供たちを対象に、「緑・水・大気」をテーマに、身近な自然を題材にして、楽しく環境保全の大切さを理解してもらおうという考え方で開催しています。刈谷市・刈谷市教育委員会の後援、刈谷青年会議所の協力のもと、多彩な講師を招いて2001年3月から10月にかけて5講座1シリーズで開催しました。

本年は愛知県刈谷市在住の小学校4年生から6年生 約20名が参加。

刈谷市の富士松北小学校に隣接する「北っこの森」を中心に自然を体感しながら学びました。

回	イベント	実施日	内容・会場
1	「探検マップをつくろう」	3月24日(土)	自分達の五感や計測機器を使って森の様子を調べ、森の探検マップを製作。森の魅力を体感しました。 「北っこの森」(刈谷市 富士松北小学校隣)
2	「竹林の手入れと竹工作」	5月12日(土)	竹林を間伐し、その竹材を活用して竹のベンチをつくりました。シーソーやブランコの形をしたベンチなど、子供たちの創造性が発揮されました。 「北っこの森」(刈谷市)
3	「水辺の生き物・夜空を舞うホタル鑑賞」	6月9日(土)	生き物調査やホタル鑑賞を通じ、清らかな自然の大切さと水をきれいにする「自然の力」「人の知恵」を学びました。 デンソー善明製作所内「ピオトープ」と平原ホタルの里(西尾市)
4	「ソーラーカーをつくろう」	7月28日(土)	「地球環境問題とは?環境に負荷をかけない暮らし」が今回のテーマ。太陽電池を使ったソーラーカーづくりも行いました。 刈谷少年発明クラブ工作教室(刈谷市)
5	「森の自然観察と、豆腐づくり・クラフト作りにチャレンジ」	10月27日(土)	「人が自然とどのように関わっていけばよいのか」をテーマに、森と水辺の自然を観察。その後、大豆から豆腐づくり、竹でつくった食器で自然の味を味わいました。 「北っこの森」(刈谷市)

刈谷市

「小堤西池カキツバタ群落自然保護活動」

国の天然記念物としても指定されている刈谷市北部の「小堤西池カキツバタ群落」。「カキツバタを守る会」により保護活動が行われてきましたが、当社のボランティアも96年から参加し、「守る会」の皆さんと一緒に作業をしています。

実施日	内容
4月28日	湿原周辺の草刈り (刈谷トヨタグループ社員32名参加。内デンソー14名参加)
5月26日	ボランティアイベント 「カキツバタふれあいうおーくラー」開催 (150名の市民が参加。デンソーボランティア39名参加)
8月25日	湿原内の草刈り (刈谷トヨタグループ社員22名参加。内デンソー16名参加)
12月1日	丘陵地の整備 (刈谷トヨタグループ社員42名参加。内デンソー8名参加)

西尾市「平原ゲンジボタルの里保存活動」

当社西尾製作所は95年より「平原ゲンジボタルの里」を守るボランティア活動に参加。翌96年には保存会の会員登録をしました。保存会では、ゲンジボタル生息区の草刈りを行うなどの活動を通じ、地元の方と共に自然を守るお手伝いをしています。

実施日	内容
4月22日	「タケノコまつり」設営準備(鯉のぼり取り付けなど) (23名の社員が参加)
6月2～17日	「ホタルまつり」運営サポート(駐車場整理など) (75名の社員が参加)
9月29日	「芋煮会」運営サポート(16名の社員が参加)

衣料回収活動

社員、市民の家庭で眠っている衣料を回収し、NPO法人日本救援衣料センター(大阪市)を通じてアジア・アフリカ・南米の恵まれない方に贈っています。衣料の回収、分別、箱づめには多くの社員ボランティアが参加しました。(1993年より、本社にて、毎年春と秋の衣替えの時期に実施)

実施日	内容
6月9日	ダンボール660箱の衣料品を回収。 カンパ金 602,667円とともに寄贈。 (デンソーボランティア62名参加)
11月3日	ダンボール479箱の衣料品を回収。 カンパ金 438,605円とともに寄贈。 (デンソーボランティア72名参加)

ボランティア支援



■ マッチングギフト

役員・社員が、個人またはグループで社外の公益団体に寄付した時、寄付先が会社の支援対象と認められた場合、会社から同額を上乗せ(マッチング)して寄付する制度です。

2000年度(2000年4月～2001年3月)は、108件が活用され、33団体への寄付を行いました。

■ ボランティア休暇・休職制度(青年海外協力隊参加支援制度)

青年海外協力隊への参加期間の約2年間の休職を認める制度です。

本制度を利用して青年海外協力隊に参加しているのは3名です。(2002年2月時点)	赴任先	内容
	ザンビア共和国	高校の理数系教師
	マラウイ共和国	セカンダリースクール(日本の中3～高3)の理数系教師
	タンザニア連合共和国	職業訓練センターの電気科教師

■ デンソーハートフルクラブの活動

「デンソーハートフルクラブ」は、社員のボランティアグループとして1998年に発足しました。世話人を中心とした有志社員による自主運営組織で、製作所毎に組織化されています。自主企画活動の推進、地域のボランティア活動への参加、使用済み切手収集等の草の根活動など、各地域毎に工夫を凝らした活動を行っています。会社のボランティア支援センター(94年設立)が活動をサポートしています。

会員数 :1418名(2002年2月時点)

デンソーハートフルクラブ独自の企画、主催による活動。(主な活動)

クラブ	実施日	内容
クラブ刈谷	4月21日 11月17日	老人保健施設「相生」の車椅子の点検を実施(2回/年実施 11～12名/回参加)
クラブ安城	11月4日	安城市福祉センターでのチャリティバザー(18名参加)
クラブ西尾	4月22日 11月11日	いきものふれあいの里 桜並木手入れ(2回/年実施 80～110名/回参加)
クラブ高棚	4月15日～	特別養護老人ホーム「ファビリス 一ツ木」慰問 毎月第3日曜日(12回/年実施 8名/回参加)
クラブ大安	5月16日～	大安町スポーツ公園周辺清掃活動(4回/年実施 26名/回参加)
クラブ幸田	10月27日	衣料回収活動(73名参加)
クラブ豊橋	11月18日	デンソーとよはしスマイルフェスタ「はあとふるバザー」(5名参加)
クラブ阿久比	5月25日	はなかつみ園 保全維持活動(10名参加)
クラブ基礎研	4月2日～	タバコ銀紙回収活動(2回/年 8名/回参加)

地域で行われるボランティア活動への参加

各種ボランティア活動への参加者数 : ボランティア参加人員 01年度 約2,800人

【主な参加イベント】

・地域の清掃活動(河川、周辺道路、地下道など)	・図書館ボランティア(本の貸し出し、整理整頓の補助)
・地域の福祉まつりでのお手伝い(模擬店のお手伝い、交通整理など)	・電友会スポーツ部による地域のスポーツ講習会補助
・福祉施設での手伝い(夏祭りのお手伝い、外出の時の付き添いなど)	・電友会カラオケ部、日舞部、音楽部、民謡部などによる老人ホームの慰問
・地域のスポーツイベントでの運営補助(マラソン大会、トライアスロン大会など)	

海外拠点の活動



海外拠点の活動

海外拠点においても、それぞれの地域において良き企業市民としての活動の輪が広がっています。デンソーの海外法人は企業市民として、地域の声に耳を傾け、豊かな地域社会づくりのためにさまざまな活動を展開しています。

主な活動	実施日	内 容
アメリカ 北米デンソー財団 設立	2001年3月6日	デンソー・インターナショナル・アメリカ(略称:DIAM、所在地:ミシガン州サウスフィールド)など4拠点が、北米における社会貢献活動として「北米デンソー財団」を設立。主に技術系大学院や技術研究機関、災害発生時の緊急支援等に対して寄付を行っています。
DIAM ルージュ・レスキュー (川の清掃活動)	2001年6月	DIAMは、1998年からデトロイトにあるルージュ川の清掃・維持管理に貢献しています。DIAMの社員約30名がチームを組んで、分水流域から丸太と残骸を取り除き、環境緑化活動を推進しました。
DIAM グリーンニング オブ デトロイト (学校の緑化活動)	2001年10月	DIAMは、1999年からデトロイトの緑化活動に寄付を行うとともに、地域の学校への植樹、花壇づくりに社員ボランティアが協力。30本以上の木の植樹、車椅子の子供が花の手入れができるように工夫した花壇づくり、花壇への草花・球根の植付けに、25人のDIAM社員がボランティアで参加しました。
DMMI ブラックファースト クラブ (病院の支援)	2000年～	デンソー・マニュファクチャリング・ミシガン(略称:DMMI)は、2000年から、毎月第3・4週木曜日に、午前6時から退役軍人病院のための朝食を準備するボランティアに社員20名が参加しています。
DMMI ウォークアメリカ (小児麻痺救済活動)	2001年4月	DMMIは、1991年から小児麻痺救済のための募金運動に協力、募金活動をしながら、6.5マイルを歩きます。DMMI社員約100名が参加し、募金額はミシガン南西地方でDMMIがトップでした。
DSCA リビルディング・ トゥギャザー (傷んだ家の修繕活動)	2001年4月	デンソー・セールス・カルフォルニア(略称:DSCA)は、1998年から地域の恵まれない世帯(高齢者や障害者など)の家を1日かかりで修繕する活動を行っています。今回は、DSCA社員約40名が参加し、屋根修理や塗り替え、キッチン修理・掃除など、1日で14軒の修繕をしました。
DSCA サンクスギビング・ フーズ・バスケット (食材提供活動)	2001年11月	DSCAは、1996年から地域の恵まれない世帯(高齢者や障害者など)に、感謝祭の食材を提供する活動を行っています。今回は、DSCA社員約400名が活動に参加しました。
DSCA エイズ・ウォーク (エイズ救済活動)	2001年5月	DSCAは、1995年からエイズに苦しむ人々に役立てようと、救済のための募金活動に協力しています。今回はDSCA社員20名が活動に参加しました。DSCAはマッチングギフトの制度を活用し、集まったお金と同じ額を寄付しています。
DNMN ワイルドライフ パーク (環境保全活動)	2001年	デンソー・マーストン(略称:DNMN)は、自然環境を体感できるエリアとして敷地の一部を地域住民に開放する活動をしています。植木や清掃には、地域住民も参加し、一緒に環境保全活動に取り組んでいます。
DIAU キーブオーストラリア ビューティフルピクトリア (環境保全活動)	2001年4月	デンソー・インターナショナル・オーストラリア(略称:DIAU)は、1996年から町の環境保全・史跡保全・リサイクル活動をすすめる団体へ寄付を行い、継続的に支援しています。

デンソー 社会貢献活動の歩み

1984

- ・障害者の福祉工場「デンソー太陽株式会社」設立
- ・「オペレーション・ローラー」への協賛開始(～1988年)
世界の若者が帆船で海外を一周し、科学・奉仕・冒険をする国際イベントに協賛

1990

- ・経団連「1%クラブ」へ入会
- ・「社会貢献活動委員会」発足
社会貢献活動の方針・活動評価・報告の仕組みづくりを開始

1991

- ・会社スポーツクラブによる地域の「少年サッカー教室」を開催
- ・「デンソーサンデースクール」(デンソー短大の講座を中高校生に開放)開始
- ・会社施設の地域開放(体育館、グラウンド、テニスコートなど)開始

1992

- ・大分国際車いすマラソン大会への協賛・支援開始

1993

- ・「青少年交換ホームステイ」開始
- ・社会貢献パンフレット「CORPORATE CITIZENSHIP」発行

1994

- ・「デンソー基本理念」のなかで、「自然を大切にし、社会と共生する」が方針として掲げられる
- ・総務部内に「ボランティア支援センター」を設立
社員の自主的な社会参加活動の支援を開始
- ・「青年海外協力隊参加支援制度」導入

1996

- ・「骨髄提供者に対する休暇制度」導入

1997

- ・「デンソービジョン2005」で、「社会の共感を呼ぶ企業づくり」が重点課題として掲げられる
- ・「社会貢献の基本方針」策定
社会貢献活動の理念、基本目標、重点3分野(障害者福祉、青少年育成、環境保全)を設定
- ・少年少女発明クラブに対する講座開催支援開始
- ・「ファミリーオープンハウスデー」開始

1998

- ・「デンソーハートフルクラブ」設立
社員有志によるボランティアグループを組織化
- ・「マッチングギフト・ファンド」導入

1999

- ・NPO法人「アジア車いす交流センター」設立

2000

- ・社会貢献活動に関する評価システムを導入

2001

- ・NPOと連携し地域の小学生を対象とした体験型の環境教育プログラム「ECOLンジャー21」開始
 - ・青少年創造性啓発プログラム「デンソーモノづくりフェスタ」開始
 - ・社会貢献パンフレット「ともに歩む社会へ。」発行
-